（第二種）（明治一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十七年一月七日（水曜日）　臺灣日日新報　第一万五千二十七號　（一）

夕刊 臺灣新報

一月六日　夕刊臺灣一回二種　印刷兼發行人　社長　所在地

敵第十軍に殲滅打撃
敵遺棄死體一萬九千
皇軍の長沙作戰戰果

五萬以上會戰後最大の會戰

【重慶六日發同盟】敵が總攻擊に出ると一月一日發表以來殆んど連日に亘る一月六日午後五時迄の敵軍十萬の死傷、九千の三個師團二萬の潰滅に關し遂に沈默を破つた

敵三箇師を猛攻
遠安西方山地戰戰果

【重慶六日發同盟】二日午前十時以來北方二十五粁地點の敵○○師は遠安を目指し猛攻を開始したが我が○○師は同地方山地内において敵

南方の新建設へ
臺灣の協力方途
督府局部長會議で協議

【臺北五日發】南方新建設の重大使命を帶びて、一日、朝十時七分臺北着、二日午後一時半七分の列車で、更に南下することに決定した總督府の一行は、總督官邸で午前中に於ける各方面との懇談を終へ午後一時半、ニコラの官邸に、長谷川軍司令官、ボルネオ第十師團の參謀長、長谷川參謀長と會見、南方新建設に關する諸般の問題に關し、懇談した

新事態と追加豫算
折衝へ上京
齋藤總務長官談

【臺北五日發】齋藤總務長官は、臨時議會開會の迫つた事とて、今回上京の目的は、主として、新事態に伴ふ追加豫算の折衝にあるが、なほ、南方新建設の問題とも關聯して、各方面と懇談したい――と語つてゐるが、滯京は、一週間乃至十日位の豫定である

米機三機を擊墜
荒鷲、蘭貢を爆撃

【ルソン五日發同盟】DNB通信ニシンコック特派員は四日の日本航空隊のラジオ放送を傳へ、ラングーン攻撃に關して次の如く報じた、即ち、ラングーン攻撃の中、機が撃墜された

【サイゴン六日發同盟】六日朝のシンガポール放送によれば日本航空隊は五日ラングーンを空襲した

ラバウル飛行場を空襲

【上海五日發同盟】五日のメルボルン、アデア兩發によれば英機動部隊は五日正午の知らせニミッツ

濠洲、新西蘭基地を米海軍使用を發表

【ワニノスアイレス五日發同盟】ワシントン來電によれば、カーチン濠洲首相は四日米國家記者團と會見、濠洲、ニュージーランドの濠洲基地を使用、濠洲海岸の防衛に當ることとなつた旨發表

米英側軍需資源委員會創設

【リスボン五日發同盟】ワシントン來電によれば、ルオル大統領は五日チャーチル英首相と會見、米英側軍需資源委員會の創設を發表した

新嘉坡爆撃

【サイゴン六日發同盟】六日朝シンガポール放送によれば、日本海軍當局はシンガポールを空襲した

反樞軸同盟會議は
常套の宣傳謀略
獨紙、米英の策動冷笑

【ベルリン五日發同盟】米英兩國の宣傳取りで開催されたワシントンに於ける反樞軸國會議に對し獨逸の各紙はこれをチャーチル、ルーズベルトとが世界を制覇せんとする帝國主義的野望を暴露したものであるとなし、これは英國の無力國に入つた以上當然的歸結であるとなし、三國同盟條約の條約たる存在及び意義に對し何等の影響をも與へないものであるとなし、ニューヨークの敵性地を使用、敵飛行機の發着を許すことなどは中立國侵害の何物でもないと論じてゐる

米國務省と陸軍省仲間割れ
謀略宣傳の內幕

【リスボン五日發同盟】米國間はマニラ陷落の擴聲をとらへて日本に對し敗北の印象を與へんとの謀略宣傳を開始したが、米國務省と陸軍省との間に意見の對立があり、國務省は陸軍省の謀略宣傳を以て米國の威信を傷つけるものとなし、これを抑へんとしてゐるが、陸軍省は國務省の抑へんとするのを無視して謀略宣傳を續けてゐる

飛行船隊を編成
米沿岸水域を哨戒

【ストックホルム五日發同盟】米陸海軍當局はしばしば米本土沿岸の敵潛水艦に惱まされてゐるが、ワシントン筋觀測によれば米國飛行船隊を編成して沿岸水域の哨戒に當ることとなつたと報ぜられる

單機敵地に不時着
月明のカガヤン河彷徨
豪膽陸鷲勇士の生還奇譚

【比島○○基地五日發同盟】單機敵地に不時着した勇士は、○○部隊○○隊の○○軍曹（○○）と○○部隊○○隊の○○軍曹（○○）の二名であるが、○○軍曹は、去る○○日、○○○

豪語の英軍敗走千里の巻

英兵は弱くて困る〝ハリキリ勇士も慨歎〟
マレー最前線突破記

撫で勇士の手を握り締めてしてる配者から突然手を振られた相手で驚いて居たが能記者と知ると「マレーキラ」と能定千里の英兵の敗走ぶりを聞いた記者は何度も驚いて聞き返したほどだ、今度の戦いに参加した英兵は殆んどが印度人とマレー人の混成部隊で白人は殆んどいなかつたが、この点からも英軍の弱体ぶりが暴露されてゐる、記者は更に英兵の敗走ぶりを聞くと「マレー半島の西部たる○○州の○○に上陸した英軍は日本軍の攻撃を恐れロンドンおよびワシントンにおける開戦政府の代表者は一日も早くこの方面に対する援助の強化をうながすことを熱望しているとの報道に接し、今度の戦いに参加した

臺灣新報
本日夕刊共六頁
昭和十七年一月七日（水曜日）

南部馬來死命制す
決戰の戰機刻々
カンパルより皇軍鋭鋒

【マレー戰線〇〇六日發同盟】カンパルの濠洲兵團に潰滅的打撃を與へた後、敵の側背深く迂廻してペラ、セランゴールの州境を突破し、セランゴール州要衝〇〇に近迫した我が急襲部隊は言語に絶する總ゆる惡條件を克服しつつ三、四、五の三日間不眠不休の進撃によつて六日未明要衝〇〇後方〇〇粁の地點に進出し今や〇〇を中心とする敵防衛軍の腹背に對し一擧猛撃を浴せんとする態勢を整ふるに至つた、一方カンパルより敗退する敵主力追撃中の吾が大縱陣も六日〇〇北方〇〇粁にその鋭鋒を進めて南部マレーの死命を制すべき決戰の戰機は刻々迫りつつある

セランゴール州の
最大據點運命迫る

【マレー戰線〇〇六日發同盟】南部マレーの要衝セランゴール州の〇〇に對するわが攻撃は敵を壓倒しつつあるが、ペラ、セランゴール州境を越えて更に〇〇の線へ驀進しつつあつたわが〇〇部隊は五日夜半〇〇に入り、同日夕刻には〇〇を占領、同日夕刻には〇〇の一角をも占領、一方これと呼應しつつ南部マレー東岸の要衝〇〇の敵軍は四十粁に亘る退路を遮斷され、一擧これを殲滅しつつ南部マレー西岸の要衝〇〇に向ひ急進撃中である

六機を炎上、五機大破
荒鷲クルアン（ジョホール州）急襲

【マレー戰線〇〇六日發同盟】カンパル地區より敵の新に設置した第二線陣地中わが攻撃部隊は〇〇東南方を基點とする敵の一線に對し三十數機に敵戰闘機を發見その多くを擊墜した

敵自動車群、船團を猛爆

【マレー戰線〇〇六日發同盟】カンパル地區より敵の新に設置した第二線陣地中わが攻撃部隊は〇〇東南方を基點とする敵の一線に對し三十數機に敵戰闘機を發見その多くを擊墜した

南部馬來の敵要地炎上

【マレー戰線〇〇六日發同盟】わが東西相呼應する猛爆に敵南部マレーの要衝〇〇は六日夜同

新嘉坡、クルアン急襲
バタアンの敵を連爆
陸鷲、比島馬來に大戰果

【東京發同盟至急報】大本營陸軍部發表（六日午後五時）帝國陸軍航空部隊は連日各方面において活躍し、多大な戰果を收めつつあり、その狀況左の如し

マレー方面

一、選抜せる我が精鋭なる爆撃機は二日夜シンガポール、テンガ飛行場を奇襲、超低空爆撃を敢行、格納庫を爆砕、三箇所より火災を生ぜしめたり

二、二日ラツカ海峡の敵艦船を攻撃せる部隊はモリブ岬沖に於て大型貨物船一隻を爆撃轟沈せり、また他の一隊はカンパル、デコン間の地區に於て敗走中の敵自動貨車群を急襲し、その多數を爆砕炎上せしめたり

三、一昨夏半後、敵爆撃機十機、クルアン飛行場に進出せるを認むるや機を逸せずこれを急襲しその全機を捕捉撃滅せり、同日夜シンガポールを急襲せる部隊はモリブ岬沖に於て大型貨物船一隻を爆撃轟沈すると共に攻撃し來れる敵戰闘機と空中戰を交へ、その一機を確實に撃墜せり、我に損害なし

比島方面

一、二日以來バタアン半島方面の追撃戰に協力し、特にリマイ、バランガ、スピック等の要衝に蝟集せる敵を連爆すると共に車輛部隊及び船舶を攻撃し、自動貨車百四十六輛破壊、船舶十隻を撃沈せり

米比軍を急追西南進
グアグアの線に進出

【比島〇〇基地六日發同盟】バタアン半島南端地區へ向け敗走する米比軍を急追して一路西南進を續行中のわが地上部隊は所在の敵を撃破しつつ五日夕刻には早くもグアグアの線に進出、更に戰果を擴大中

陸鷲敵要衝に巨彈

【比島〇〇基地六日發同盟】陸軍航空部隊の一部は六日未明敵大型爆撃機十數機がシンガポール北方ジョホール州クルアン飛行場に集結中との報に我が荒鷲群は時を移さず同飛行場を奇襲滑走路を大破して敵の離陸を不可能にした上、低空銃撃を加へて六機を炎上五機を大破せしめた

【マレー戰線〇〇六日發同盟】カンパル地區より敵の新に設置した第二線陣地中わが攻撃部隊は〇〇東南方を基點とする敵の一線に對し三十數機に敵戰闘機を發見その多數を撃墜した

【東京發同盟】敵側に於ても英帝國勢力の根幹たるシンガポールの防衛に關しては特に重大關心を拂ひ、最近に於ても陸海軍當局者の視察を行はしめ、或は軍事會議を開催する等あらゆる施策を講じつつあるが、その一環として今回新たに英國より極東軍總司令官パーシバル中將が派遣されたことは既報の通りであるが、同中將は十二月二十七日シンガポールに到着、直ちに陸海軍當局者と會見、更に二十八日には海軍基地を視察、二十九日には陸軍關係の施設を視察、三十日には空軍關係の施設を視察、三十一日には再び陸海軍當局者と會見、一月一日には陸軍關係の施設を視察、二日には海軍關係の施設を視察、三日には空軍關係の施設を視察、四日には再び陸海軍當局者と會見、五日には陸海軍關係の施設を視察、六日には陸海軍當局者と會見、七日には陸海軍關係の施設を視察、八日には陸海軍當局者と會見、九日には陸海軍關係の施設を視察、十日には陸海軍當局者と會見、十一日には陸海軍關係の施設を視察、十二日には陸海軍當局者と會見、十三日には陸海軍關係の施設を視察、十四日には陸海軍當局者と會見、十五日には陸海軍關係の施設を視察、十六日には陸海軍當局者と會見、十七日には陸海軍關係の施設を視察、十八日には陸海軍當局者と會見、十九日には陸海軍關係の施設を視察、二十日には陸海軍當局者と會見、二十一日には陸海軍關係の施設を視察、二十二日には陸海軍當局者と會見、二十三日には陸海軍關係の施設を視察、二十四日には陸海軍當局者と會見、二十五日には陸海軍關係の施設を視察、二十六日には陸海軍當局者と會見、二十七日には陸海軍關係の施設を視察、二十八日には陸海軍當局者と會見、二十九日には陸海軍關係の施設を視察、三十日には陸海軍當局者と會見、三十一日には陸海軍關係の施設を視察、二月一日には陸海軍當局者と會見、二日には陸海軍關係の施設を視察、三日には陸海軍當局者と會見、四日には陸海軍關係の施設を視察、五日には陸海軍當局者と會見、六日には陸海軍關係の施設を視察、七日には陸海軍當局者と會見、八日には陸海軍關係の施設を視察、九日には陸海軍當局者と會見、十日には陸海軍關係の施設を視察、十一日には陸海軍當局者と會見、十二日には陸海軍關係の施設を視察、十三日には陸海軍當局者と會見、十四日には陸海軍關係の施設を視察、十五日には陸海軍當局者と會見、十六日には陸海軍關係の施設を視察、十七日には陸海軍當局者と會見、十八日には陸海軍關係の施設を視察、十九日には陸海軍當局者と會見、二十日には陸海軍關係の施設を視察、二十一日には陸海軍當局者と會見、二十二日には陸海軍關係の施設を視察、二十三日には陸海軍關係の施設を視察、二十四日には陸海軍當局者と會見、二十五日には陸海軍關係の施設を視察、二十六日には陸海軍當局者と會見、二十七日には陸海軍關係の施設を視察、二十八日には陸海軍當局者と會見、二十九日には陸海軍關係の施設を視察、三十日には陸海軍當局者と會見、三十一日には陸海軍關係の施設を視察、四

戰時下に於ける生活規正
長期戰に備へる新生活線へ

一　大東亞戰爭の壯嚴なる發現と目的とは既に國民の一人一人をして眞にわれ國運の興隆を賭してもこの聖戰を貫徹せんとする決意を固めしめたのであつてこの聖戰は國家の興亡を賭するまで飽くまでも戰ひ抜かねばならぬ。それがためにわれらは日常生活の一切を擧げてこの聖戰の遂行に集中し、聖戰目的の達成のためにその一切を犧牲に供することを辭してはならない。聖戰は既に開始されてゐるのであつて、われらは聖戰の完遂のために日常生活の一切を戰時生活へと切り換へねばならない。

二　大東亞戰爭の開始と共に國民生活の各般に亘つて戰時的な緊張が加へられたことはいふまでもないが、今回の開戰と同時に、國民生活に大きな影響を與へるものは、いはゆる南方資源地帶の獲得である。南方資源地帶の獲得は、わが國民生活に大きな潤ひを與へるものであるが、同時に、南方資源地帶の開發のために、國民生活の一部に對して相當の犧牲を要求することとなるであらう。

三　かくて開戰に伴つて國民生活の各般に亘つて新たな緊張が加へられるが、この緊張に處して國民生活の安定を確保するためには、國民生活の各般に亘つて、從來の生活慣習を改めて、戰時生活に適應した新たな生活慣習を樹立しなければならない。特に國民生活の基礎をなす衣食住の三大部門と交通とは國民の日常生活に最も關係が深いから、この部門における生活慣習の改善は極めて重要である。

四　衣料については、既に一昨年來、衣料の切符制が實施されてゐるが、今後は、衣料の消費量を更に節約するために、衣料の切符制を強化するとともに、衣料の生産を戰時的に再編成して、衣料の生産量を減少することが必要である。

五　食料については、既に米の配給制が實施されてゐるが、今後は、米の消費量を更に節約するために、米の配給制を強化するとともに、米の代用食を奬勵することが必要である。

六　住宅については、空襲に備へるために、住宅の疎開を實施するとともに、住宅の構造を戰時的に改造することが必要である。

七　交通については、戰時下の國民生活に必要な交通を確保するために、交通の戰時的再編成を斷行することが必要である。

八　開戰初頭の段階においては、以上の諸點を中心として、國民生活の各般に亘つて、戰時的な緊張を加へることが必要であるが、この緊張に處して國民生活の安定を確保するためには、國民生活の各般に亘つて、戰時的な合理化を斷行することが必要である。

勞務調整令の解說
企畫部勞務課長談を發表

國家總動員法第四條に基く勞務調整令は、國家總動員上必要ある場合、勞務に關する事項を命令することを得る旨を規定してゐるが、その具體的内容は、勞務調整令（勅令第百十七號）として、昨年十二月二十七日公布され、本年一月一日から施行されてゐる。

勞務調整令は、勞務の適正なる配置を圖るため、勞務の需給關係を調整し、勞務の移動を制限し、又は勞務を使用する者に對し勞務に關する事項を命令することを得ることとしてゐるが、勞務調整令の施行に關し、企畫部勞務課長は次の如く語つた

「生活五訓」を反復實踐
各自職域奉公に勵精
皇奉の實踐要項決る

大詔奉體日

一時間早く出勤
諸行事を決定

臺北商議と
大詔奉體日

臺北市内各官公署學校會社銀行商店等は來る八日大詔奉體日の當日は午前八時より一時間早く出勤し大詔奉體日の趣旨に則り左記事項を嚴守實踐すること

【實踐要項】

一、大詔渙發の當日を期し宮城遙拜の實を擧げ且つ國民總力の發揮に邁進すること

二、實踐事項

(イ)皇奉體日

(ロ)職域奉公

(ハ)職域奉公の實踐

(ニ)國民學校

(ホ)一般官公署

(ヘ)會社銀行商店

(ト)學校

(チ)一般家庭

(リ)一般國民

(ヌ)國民學校兒童

(ル)國民學校兒童

(ヲ)國民學校兒童

(ワ)國民學校兒童

(カ)國民學校兒童

(ヨ)國民學校兒童

(タ)國民學校兒童

(レ)國民學校兒童

(ソ)國民學校兒童

(ツ)國民學校兒童

(ネ)國民學校兒童

(ナ)國民學校兒童

(ラ)國民學校兒童

(ム)國民學校兒童

(ウ)國民學校兒童

(ノ)國民學校兒童

(オ)國民學校兒童

(ク)國民學校兒童

(ヤ)國民學校兒童

(マ)國民學校兒童

(ケ)國民學校兒童

(フ)國民學校兒童

(コ)國民學校兒童

(エ)國民學校兒童

(テ)國民學校兒童

(ア)國民學校兒童

(サ)國民學校兒童

(キ)國民學校兒童

(ユ)國民學校兒童

(メ)國民學校兒童

(ミ)國民學校兒童

(シ)國民學校兒童

(ヒ)國民學校兒童

(モ)國民學校兒童

(セ)國民學校兒童

(ン)國民學校兒童

宣戰の大詔奉體し
銃後鐵桶の護り
愈よあす 第一回大詔奉體日

八日を中心に開催
近く全國地方長官宛通牒

隣組常會
本島では毎月八日と決定
あす本年初のラジオ常會

天翔る海鷲五白機
帝都上空で觀閲式
實戰宛然の妙技公開

世紀の陸海鷲大編隊
堂々空の大進軍
威容を銃後國民の前に展開

戰捷の春の壽ぎ

皇軍將兵慰問金

本社受附分
（第一回）

金三圓　臺灣日日新報社
金二千七百五圓五十錢　臺灣日日新報社員一同
金百十五圓　臺灣教育會中央本部保育問題部員一同
金百圓　江根　孫人
金百圓　西尾　胡子
金百圓　前通ひより

金二百圓　吉岡　清二
金一千圓　庄尾　勝治
金三百圓　山本友次郎
金百圓　吉野　崇吉
金百圓　金五圓大久保秀子、金五圓大久保俊子、金十圓中和生命岡一二
金百圓　金五圓一井一郎、金二十圓岩元三吉、金二圓藤澤洲、金二圓阪上昭太郎、金一圓阪上知男、金十圓中島貫

マレー英兵陣地に
投降勸告狀を投下
崩潰前夜の敵大衝撃

ディモライツ

三十分じっぱ採

金三圓吉村德子、金五十圓齋藤勝、金五十圓東京尾張屋、金五十錢榮尾敏子、金五圓東京尾張屋、金一圓西澤榮、金二十圓鐵工組合、金二圓西澤三郎、金十五圓岡内商店、金二十圓鶴川ベス、金二十圓岩元三吉、金二圓藤澤洲、金二圓阪上昭太郎、金一圓阪上知男、金十圓中和生命岡一二、金十圓小林好子、金十圓齋藤勝、金二圓小林榮一、金五圓小林好子、金二圓小林好子、金二圓大和田さく、金二圓阪上知男、金一圓五十錢阪上知男、金一圓五十錢阪上知男、金一圓五十錢

各地總合版

一齊に詔書奉讀式
州廳職員は神社參拜戰捷祈願
高雄州大詔奉體日行事

【高雄電話】宣戰の大詔渙發から半歳を經た八日を大詔奉體日として定められたので高雄州下各官公衙學校其の他各團體は一齊に詔書奉讀式を擧行した

【高雄電話】高雄州では八日午前八時から